

平成20年度 「第7回学長と卒業予定者との懇談会」要点及び学生からの要望一覧等

学 部 等	学 生 の 意 見 ・ 要 望 等	懇 談 会 で の 意 見 ・ 回 答 等	学 部 等 対 応 ・ 回 答
学部等共通	<ul style="list-style-type: none"> ・校内禁煙が完全になったと思うが、まだ灰皿がいろんな所に設置されていたり、歩きタバコをしている人が多い。 ・長崎大学は校内がわかりにくい、案内板があるといい。 ・学食にスターバックスがあればいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学として、完全禁煙で行くのか、完全分煙で行くのか態度が決まっていない。完全分煙になるとそれなりの経費がかかるが、前向きに検討する必要がある。 ・道標について施設部を中心に計画中であるが、意見が出たことを早く実現するよう努力したい。 ・スターバックスは審査が厳しく、大学病院はだめだった。 	<p>*原則禁煙であり、各部局等が独自で喫煙場所を設けている。</p>
学部等共通 (学生の授業評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の授業評価では、それほど先生の意識が変わって授業が改善されているとは感じない。 ・アンケートは授業の終わりに配っているだけで、まともに付けている人はあまりいない。 ・学生評価はどのように先生にフィードバックされているのか。 ・黒板に何も書かずに教科書を読むだけの先生がいたため、最低評価を付けて提出したが、全く授業スタイルは変わっていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生も評価により反省し、次の授業に生かす。要するに改善のサイクルを回すというのが一つの考え。 ・一生懸命にやっている先生に何かインセンティブをとという考え。 ・授業評価は20年の歴史があり、先進国はアメリカなのでアメリカから様式をもらい始めた。 ・評価は、大学全体で教員と学生との間の信頼関係ができていくことが必要。 ・評価項目の平均点を取り、自由記述の部分は答案用紙や評価用紙をすべてそのまま先生に返している。 	

学 部 等	学 生 の 意 見 ・ 要 望 等	懇 談 会 で の 意 見 ・ 回 答 等	学 部 等 対 応 ・ 回 答
全学教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全学の英語の中には、高校の英語を教えられている。 ・会話を中心とした英語を勉強したかった。 ・英語を本気で勉強したいクラスを自由科目として設けるのもいい。 ・全学教育を必修にされている目的は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語のレベルによりクラスを選べるとよい。 ・全学教育は、アメリカのカレッジであり、まさに教養教育である。日本の教育はディベートや議論のところが非常に遅れている。また、自国の文化について語れないなど、非常にベーシックな人間として最低限必要な知識であったり、考え方を学ぶには必要。 	
教育学部	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部の授業は同じコースが、A班とB班に分かれていて、例えば英語では先生が違うために水準やテストの内容が違って、不満が出ているので揃えてほしい。 		<p>*教育学部では適切なクラスサイズを維持するため、A・B班に分けた履修体制を取っております。授業担当者が異なる場合、指摘のような問題が生ずるようですが、担当者が本学部教員である場合は、シラバスの調整、評価基準の統一化などにより、授業内容や評価結果が大きく異なることのないように努めております。しかし、例示された英語科目（「英語コミュニケーション」）のように、非常勤講師担当の科目において、調整が充分に進んでいないことがあるようです。今後、授業科目をコーディネートしている担当教員を通じて、授業内容・評価基準等についての調整を図りたいと考えております。</p>
経済学部	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の就職ガイダンスは非常によかった。 ・都会では、夏休みにリクナビやマイナビの専門家を雇い、特別に自己分析講座や色々な就職支援講座をやっている。そういう面で九州は就職時期の開始時期、開始内容について遅れていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済に来ている求人情報は経済だけにしか見えてない情報で、他の学部でもいいのがあるので、全学部の学生が見えるところであればよい。 	

学 部 等	学 生 の 意 見 ・ 要 望 等	懇 談 会 で の 意 見 ・ 回 答 等	学 部 等 対 応 ・ 回 答
医学部（医）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学科のカリキュラムは、1年の前期は余裕があり、4年の実習は全然なく、講義ばかりであるため、少しカリキュラムを変えてほしい。 ・ 6年生以外の学年が勉強する施設（自習室）が足りない。 ・ 図書館は試験前はいっぱい、第2講義室は夜の12時以降も開けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学部レベルで先生と学生の間でコミュニケーションをとりながら解決できるのが一番いい。 ・ 学部において、学生がいろんな要求をするシステムがあればよい。（教育学部はある。） ・ 施設を24時間開放するのは非常に難しい。 ・ 貸し出しできる部屋があるが、情報がうまく伝わっていない。 	
歯学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯学部は食堂など場所が狭く、勉強できるスペースがない。歯学部祭を開催する場合も入院患者さんから苦情も出ている。 ・ 歯学部長宛に「大学として国家試験の対策（ミニ講義など）を本格的にやっていただきたい。」という要望書を提出した。 ・ 歯学部の3年次のカリキュラムは余裕があるため、少し早く全てのカリキュラムを終わらせて、国家試験のための時間が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャンパスの問題は、スペース的にハンディキャップがあるのは承知しているが、学生さんの中に何か調整システムを置くといい。 ・ 医学部は勉強部屋を提供している。 ・ 歯学部は講義室自体も少ない。 ・ 生協は学生が夏休みになると閉館になるため、一般の業者が入るのは難しい面もあるらしい。 	

学 部 等	学 生 の 意 見 ・ 要 望 等	懇 談 会 で の 意 見 ・ 回 答 等	学 部 等 対 応 ・ 回 答
薬学部	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の教科書が難しすぎるものや、教科書が高額なのに授業のプリントによるものや全然使わないことも多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医歯薬系は昔から教科書が高い。 ・知識の取り入れは、インターネットを活用する方法もある。 	<ul style="list-style-type: none"> *教務委員長が、懇談会出席学生と同学年の修士1年生に事実確認を行ったところ、該当科目が判明したので、担当教員に厳重に注意を行った。 *6月10日開催の教授会において教務委員長が説明を行い、シラバスに教科書及び参考図書を記載する際、厳密に記載するよう依頼した。 *教務委員長が、現4年次生について該当科目がないか確認を行ったが、該当する科目はなかった。
工学部	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年生の授業カリキュラムが余裕がある割には、3年生は急に忙しくなるため、もう少しバランスを検討して欲しい。就職活動をする暇がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討する必要はある。 ・ライセンス学部ではない学部、特に理系は基礎を1、2年の時にやっておく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> *現在は修得すべき教養科目数が少ないため、アンバランスな状態となっており教養教育の在り方が再検討されています。そこで、教養科目数の増加と理系学部のための基礎科目の充実も検討されており、これに沿ってバランスのとれたカリキュラムの構築を検討します。
環境科学部	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室に入るのが4年生の時期なので、3年生の終わりから入る就活の際、研究内容を聞かれ答えられない。できれば早い時期から研究室に所属できればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考え方として、最初から文系、理系に分けるのもある。(早く研究室に所属させる。) 	<ul style="list-style-type: none"> *教育的観点から、理系（環境保全設計コース）の卒業研究は4年次に履修するカリキュラムにしています。就職活動で卒業研究について聞かれた際には、卒業研究が4年生になって始まることを伝えるだけでなく、卒業研究に対する自分の抱負や熱意を述べてはいかがでしょうか。きっと相手に理解していただけたらと思います。